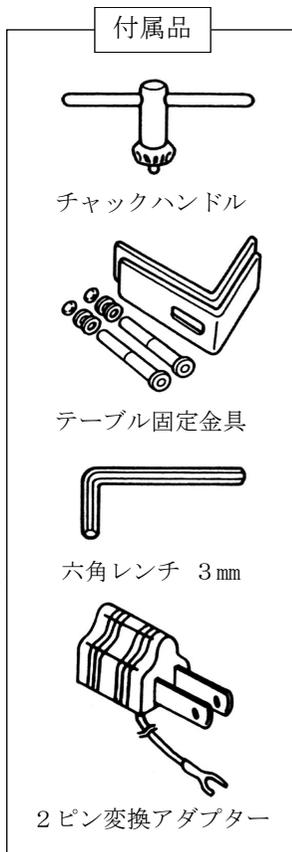
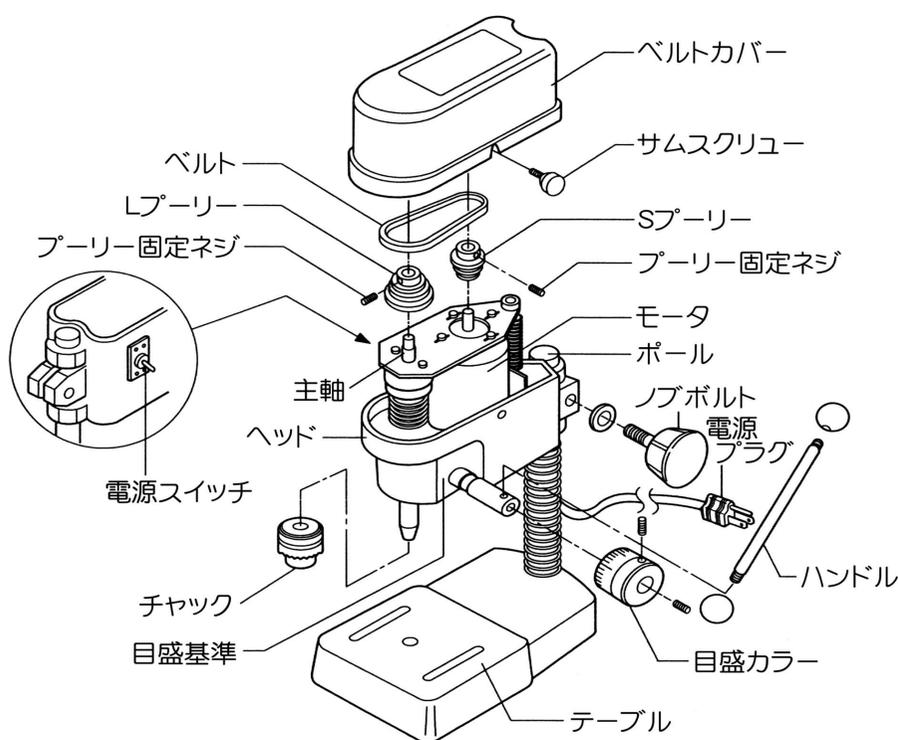


K-15

デスクドリル

このたびはホーザン K-15 デスクドリル をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

各部の名称と入組明細



※ ドリル刃は付属しておりません。別途お求めください。

仕様

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	60W
定格使用時間	500分（無負荷連続運転時）
穴あけ能力	鉄・非鉄6.5mm φ
チャッキング径	0.5～6.5mm φ
主軸回転数	約1100/2500/4200/6400/9600rpm (60Hz)
	約900/1300/2100/3500/5300/8000 rpm (50Hz) プーリー・ベルト掛け換え方式

主軸の芯ブレ	0.02mm(チャック含まず)
主軸のテーパ	ジャコブスNo. 1
主軸の最大上下動	35mm
ふところ深さ	200mm
チャック先端から テーブルまで	170mm
テーブルの作業面	180×180mm
外形寸法	210(W)×450(H)×340(D) mm
重量	17kg

注意文の警告マークについて

この取扱説明書ではご使用上の注意事項を次のように区別しています。

⚠警告…重傷をとまなう重大事故の発生を想定してのご注意

⚠注意…傷害や物的損害を想定してのご注意

なお、**⚠注意**として記載されていても、あるいは特に記述がなくても、状況によっては重大な結果をまねく恐れがあります。正しく安全にご使用ください。

ご使用上の注意

本機は、穴あけ能力が鉄・非鉄6.5mmまでの穴あけ作業専用の卓上型ドリルです。この目的以外には使用しないでください。

⚠警告

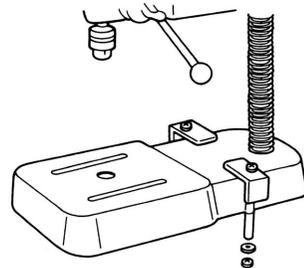
1. 定格使用時間を守ってください。
2. 銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると本機故障の恐れがあります。
3. 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
4. 感電に注意してください。
 - 雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で絶対使用しないでください。
 - 使用中身体を、アースされているもの（例えば暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）に接触させないようにしてください。
 - 必ずアースを接続してください。感電の恐れがあります。
5. 無理な負荷をかけると、モータ部が発熱し、故障の原因になります。
 - 安全に効率よく作業するために、製品の能力にあった速さで作業してください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - だぶついた衣服や、長い髪の毛などは、駆動部に巻き付いたりする恐れがあります。
 - 巻き込み事故の防止のため、手袋は絶対に着用しないでください。
7. 作業中は保護メガネを使用してください。粉塵の多いところでは、防塵マスクを併用してください。
8. 駆動部、可動部、カバー部、スイッチやその他に損傷がないか十分に点検し、正常に作動しているか確認してください。異常のある場合はお求めの代理店に修理の依頼をしてください。
9. 本製品は、該当する安全規格に適合していますので、改造は絶対に行わないでください。

⚠注意

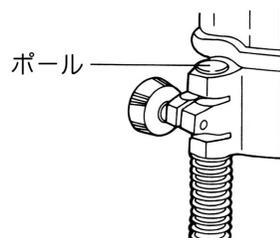
1. 本体テーブルはダイキャスト製ですので、硬いものをぶつけたり、落としたりすると割れ、へこみの原因になります。
2. 本体は防水構造ではありませんので、絶対に水などを付けて洗ったり、ふいたりしないでください。また、絶対に揮発系の溶剤やガソリン、シンナーなどでも洗ったり、ふいたりしないでください。変形、変色の原因となります。
3. 衝撃や振動の多いところ、直射日光の下、結露の恐れのある場所、低温、高温、多湿の場所に長期間放置、保管しないでください。

準備

- 1 水平で安定した作業台に、付属のテーブル固定金具でしっかりと固定します。



- 2 材料の厚さに合わせて本体の高さを調節します。
ノブボルトをゆるめて、適当な高さに移動します。
高さが決まったら、しっかりとノブボルトを締めてください。
※ 引き上げる限度は、ポールの上端が少し見える位置までです。



- 3 ドリル刃を取り付けます。
チャック横の穴に付属のチャックハンドルを差し込んでゆるめま
す。使用するドリル刃を軽くゆすりながらチャックハンドルでしっ
かりと締めつけてください。

※ ドリル刃は7ページ別売部品欄に記載の当社専用品、またはJ I S準拠の同等品「ストレートシャンクドリル」のうち 0.5 ~ 6.5 mm φのものをご使用ください。

※ ドリル刃はまっすぐに取り付けます。無回転のままハンドルをゆっくり降ろし、テーブルの逃がし穴の中央にドリル刃が入ることを確認してください。



警告

ドリル刃取り付け後は、チャックハンドルを必ず取り外してください。高速で振りとばされる恐れがあり、大変危険です。

- 4 加工するものをテーブルの上に固定します。
別売のバイス (K-1 5-1 2 : 口幅 4 5 mm) や市販のクランプを使用して、しっかりと固定してください。

- 5 電源スイッチが切れていることを確認して電源プラグをコンセントに差し込みます。

警告

- 電源プラグをコンセントに接続するときは、必ずスイッチが切れていることを確認してください。スイッチが入ったまま電源を接続すると危険です。
- 2ピン変換アダプターを使用の場合は、必ずアース (接地) してください。アース施設がないときは、別にアース棒などを使用したアース工事を、工事業者の施工のもとで行い、確実に接続してください。(絶対にガス管などを代用しないでください。火災や爆発の恐れがあり、危険です。)

ご使用方法

- 1 チャックハンドルが取り外してあるか確認してください。
電源スイッチをONにします。ONにすると同時にドリルが回転します。

- 2 ハンドルをゆっくり降ろして、穴あけ作業を始めます。

⚠警告

- 巻き込み事故防止のため、手袋は絶対に着用しないでください。
- 目を保護するため、保護メガネを着用してください。
- 急激にハンドルを降ろしたり、必要以上に押さえつけないでください。
作業効率が悪いだけでなく、機械に余分な負担がかかり、故障やドリルの変形、破損事故の原因となります。

- 3 穴あけ作業が完了したら、ハンドルをゆっくり上げます。

⚠注意

- ハンドルから手を離すとバネの力でもとの位置に急にもどりますので、必ずハンドルに手を添えてゆっくりもどしてください。

- 4 作業終了後、電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

⚠警告

- 電源スイッチをOFFにするか、プラグをコンセントから抜かない限り回転部が回転を続けます。回転部付近に人体、物体があると回転部に巻き込まれる恐れがあり、大変危険です。

- ※ 作業終了後はドリル刃を取り外しておきます。
電源コードが接続されていないことを確認して、チャックハンドルでチャックをゆるめて取り外してください。
- ※ テーブル上の切りクズやホコリなども、取り除いておいてください。
- ※ 次の使用に備えて、ネジ類のゆるみや各部の異常がないかを確認してください。異常は放置せず、お求めの代理店に点検・修理を依頼してください。

穴あけ深さの調整

目盛りカラーは穴あけ深さを決める目盛です。必要な穴あけ深さに応じて、セットしてください。

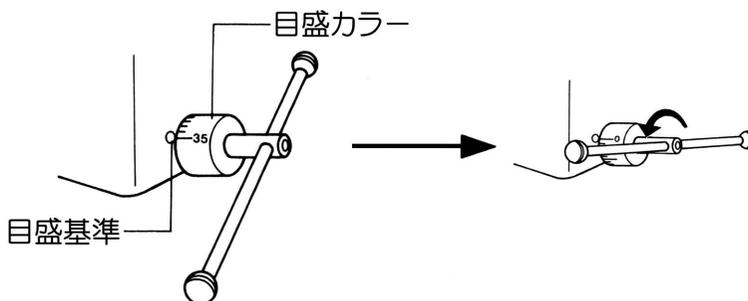
※ 目盛は目安です。正確な定規ではありません。

警告

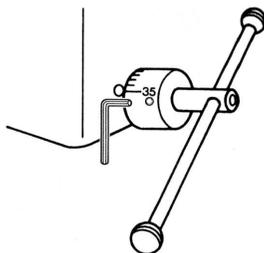
- 目盛りカラーをセットするときは、電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。電源ONのままセットすると、けがをする恐れがあります。

出荷時は、主軸の上下動を35mmにセットしています。

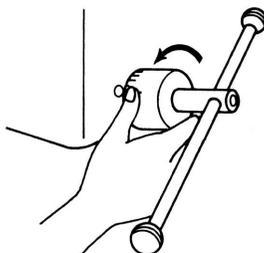
目盛りカラーは35mmの位置でスタートし、ハンドルを最後まで回転させると、「0」の位置でストップします。



- 1 目盛りカラーの止めネジを、付属の六角レンチで外します。



- 2 目盛りカラーをまわして、目盛基準に任意の数値を合わせます。
(例) 「20」に合わせると、主軸の上下動は20mmになります。



- 3 任意の位置にセットした後、止めネジで目盛りカラーを固定します。

回転数の変更

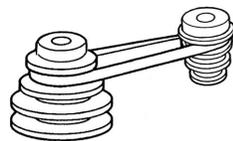
本機はあらかじめ回転数を2500rpm(60Hz)にセットしていますが、1100/1600/4200/6400/9600rpm(60Hz)に変速することができます。

警告

- 変速を行うときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。不意にスイッチが入りけがをする恐れがあります。

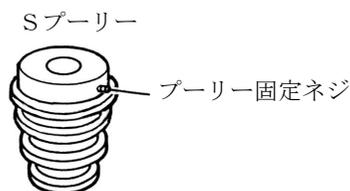
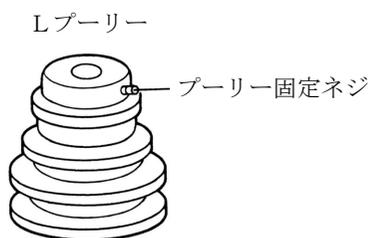
警告

- ベルトだけ上・下に移動させる場合でも、必ずプーリーを外してください。
- ベルトを無理に引っ張ると、のび、切断の恐れがあります。
- プーリーを外すとき、入れるときは、図のようにベルトをかけた状態で行ってください。
- ベルトは水平にかけてください。斜めにかけてください。
- プーリーを差し込むときは、手で押さえ込んでください。ハンマーは決して使わないでください。

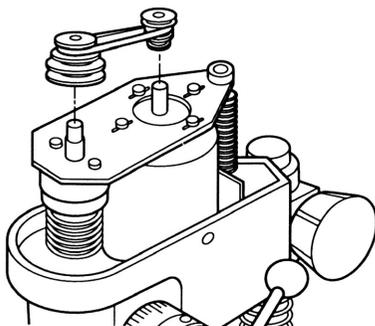


1 サムスクリューを外して、ベルトカバーを取り外します。

2 LプーリーとSプーリー固定ネジを付属の六角レンチでゆるめます。

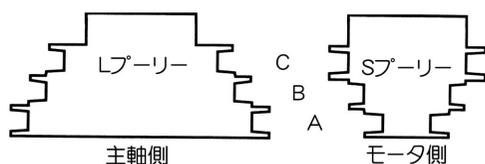


3 ベルトの付いたまま、LプーリーとSプーリーを外します。



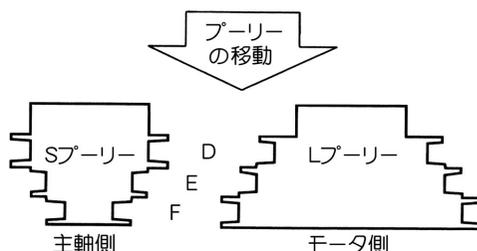
回転数の変更

- 4 ベルトをかけ換え、またはプーリーを移動します。
6通りの変速ができます。



回転数 (r p m)

	60Hz	50Hz
C	2500	2100
B	1600	1300
A	1100	900



回転数 (r p m)

	60Hz	50Hz
D	4200	3500
E	6400	5300
F	9600	8000

- 5 任意の回転数にセットした後、プーリーにベルトをかけたまま、主軸とモータ軸にプーリーを各々差し込みます。
- 6 Lプーリー、Sプーリーの固定ネジを付属の六角レンチでしっかりと締めつけます。
- 7 ベルトカバーをかぶせ、サムスクリューで固定します。

別売部品

バイス K-15-12 口幅45mm

ドリルセット K-5 7本組
(0.8/1.0/1.5/2.0/2.5/3.0/3.2mmφ)

K-494 19本組

(1.0/1.5/2.0/2.5/3.0/3.5/4.0/4.5/
5.0/5.5/6.0/6.5/7.0/7.5/8.0/8.5/
9.0/9.5/10.0mmφ)

K-495 5本組

(0.5/0.6/0.8/1.0/1.2mmφ)

HOZAN

技術的なお問い合わせ

ホーザン テクニカルホットライン

☎ **06-6567-3132** E-mail: th@hozan.co.jp

【月曜日から金曜日(祝日を除く)の10:30~12:00・13:00~17:00】

ホーザン株式会社

本社 〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-12
TEL(06)6567-3111 FAX(06)6562-0024